

地域と文化の未来をつくる文化観光

事業者の取り組み紹介

文化庁

文化観光のポイント

文化観光の補助事業では5年間の計画であり、立ち上げから体制構築、企画から実装、自走化に向けた取組までをサポート

事業前

事前支援

5カ年の計画認定
に向け、検討段階
から計画策定支援

※サン・ファン館活用

事業中

継続

5年間の複数年事業。単発施策ではなく拠点・地域に根差した施策に

体制

拠点内部だけではなく行政の複数課、地域事業者等との連携体制の構築

伴走

コーチングなどによる外部専門家からのサポート

文化観光に取り組むメリット

1

文化観光拠点の
価値向上

継続した支援により
本質的な事業に取り組める。
結果、拠点価値が向上する。

2

縦割りを超えた
体制構築

組織内、行政と民間、文化と観光といった異なる価値観を持つ関係者が集い、単独では生み出せない価値を創出。

3

担当にはない
視点獲得

計画策定前からの伴走支援、計画実施中も外部・専門家の視点を取り入れ、企画～実装までの成功確率を高める。



事業前

事前支援

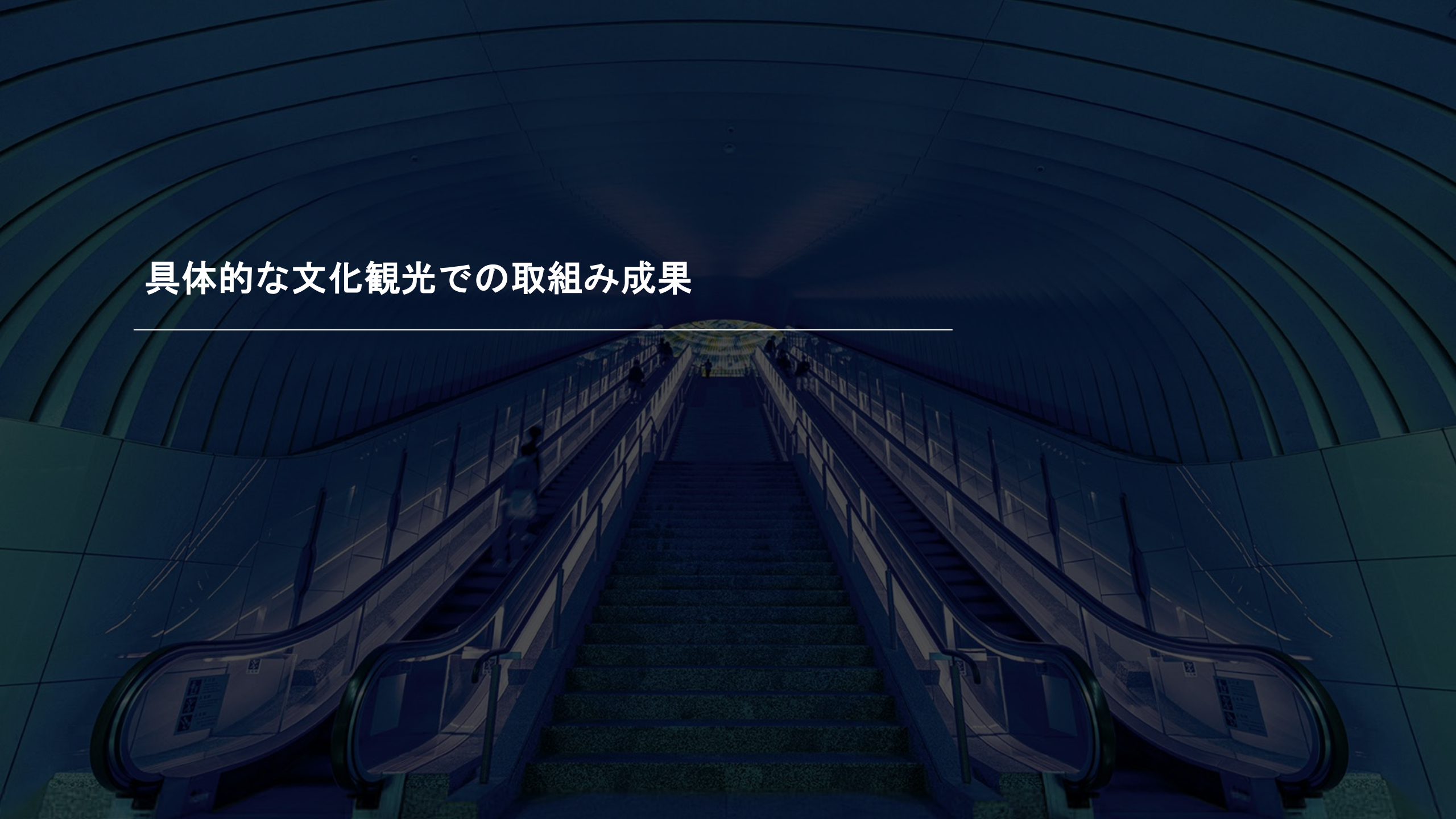
事業中

継続

体制

伴走

具体的な文化観光での取組み成果





MOA美術館

(令和2年度認定)

具体的な文化観光での取組み成果

事例紹介：MOA美術館（令和2年度認定）



1982年開館し熱海に所在。

「紅白梅図屏風」などの国宝や重要文化財のコレクション、杉本博司氏が手がけた建築や円形ホール、黄金の茶室、能楽堂などを擁する。眺望に優れた自然景観や日本庭園も魅力の一つとなっている。



事例紹介：MOA美術館（令和2年度認定）

文化観光の取り組み



「日本の芸術文化を
創り、守り、育てるプラットフォーム」
というコンセプトを具現化

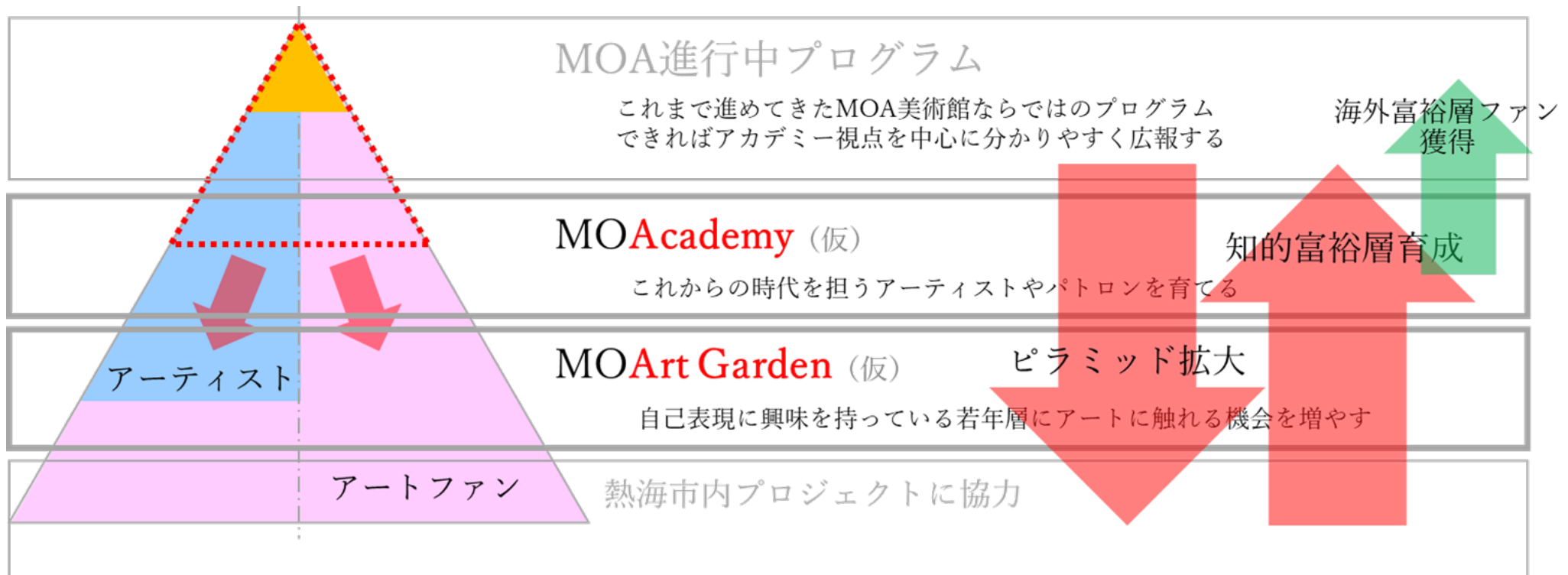
美を発見し、インスパイアされることで、
自ら創造・発信したくなったり、
創作活動を応援したくなるような、
「アトリテラシーを高める美術館」を目指す

事例紹介：MOA美術館（令和2年度認定）

文化観光の取り組み

コンセプトを軸に各個別事業をピラミッド型に構成し「次世代を担うアーティストやパトロンを育てる＝アカデミー」と「アートに触れる機会を増やす＝ガーデン」の構想を策定

▼コンセプトを実現する要素をピラミッド構造で整理

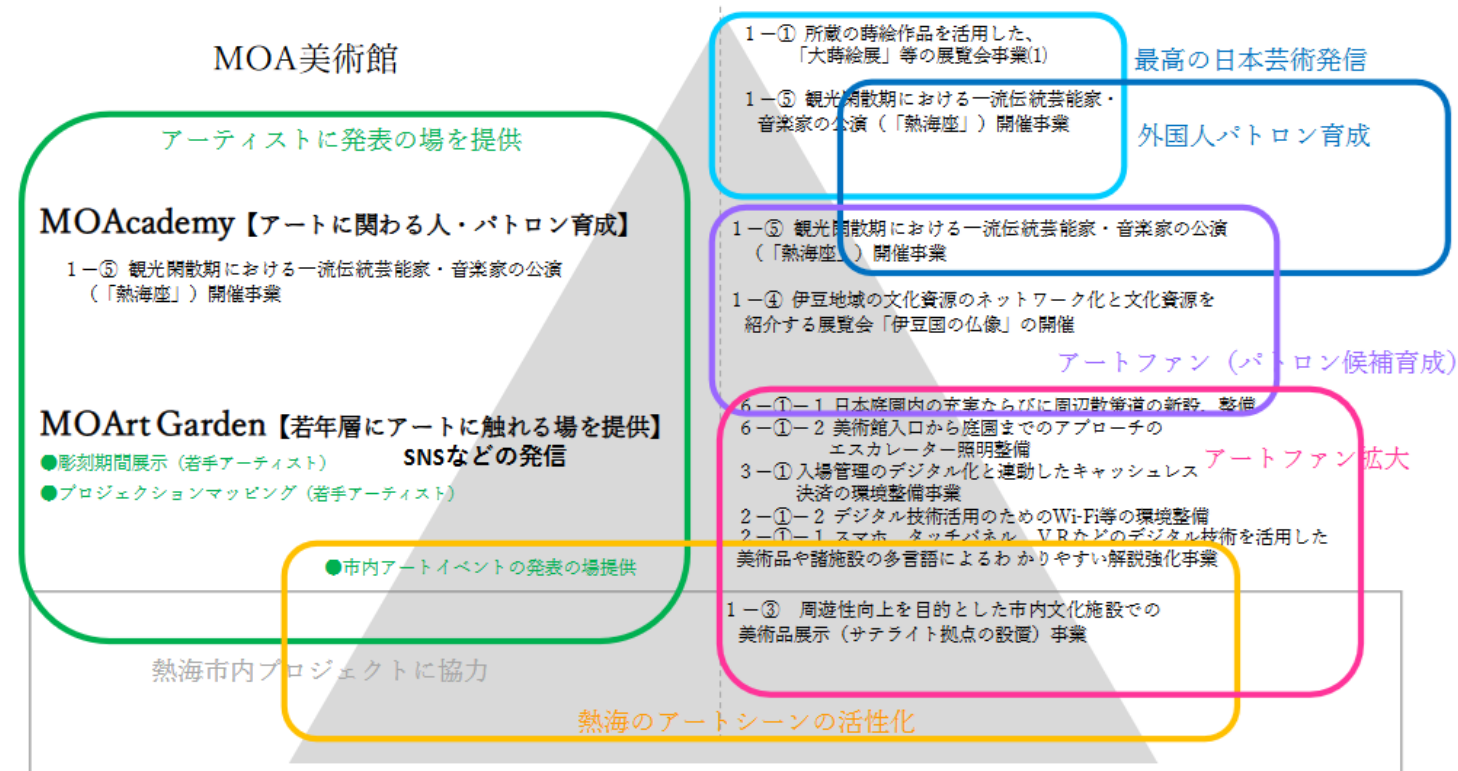


事例紹介：MOA美術館（令和2年度認定）

文化観光の取り組み

コンセプトを軸に各個別事業をピラミッド型に構成し「次世代を担うアーティストやパトロンを育てる＝アカデミー」と「アートに触れる機会を増やす＝ガーデン」の構想を策定

▼コンセプトを実現するピラミッド構造の実現に必要な事業を設定



事例紹介：MOA美術館（令和2年度認定）

文化観光の取り組み

来館者の裾野を広げる取り組みとして、庭園や動線の整備、
建築や景観を活かしたフォトスポットの設置を実施

▼周辺散策道の新設、整備



改修前のアプローチ道路



改修後は庭園との一体感が醸成された。

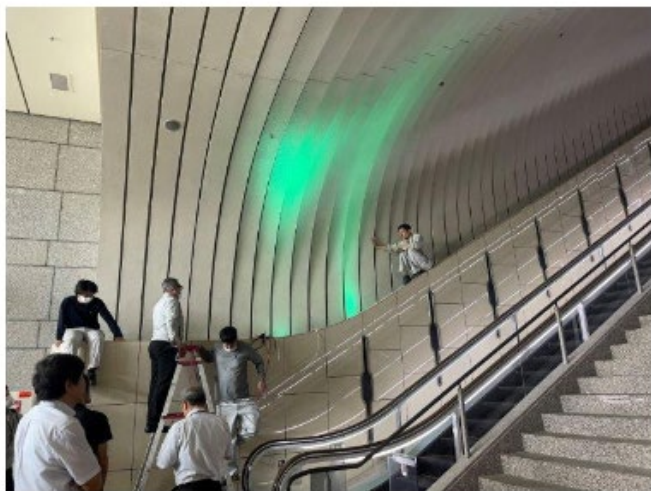


竹林遊歩道が改修され周遊性が増し、来場が増加している。

事例紹介：MOA美術館（令和2年度認定）

文化観光の取り組み

▼円形ホールに至る通路の フォトスポットとしての演出



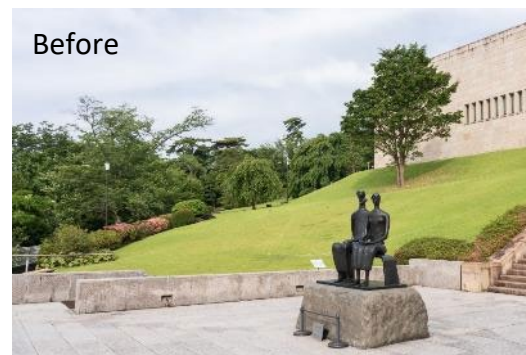
令和6年度の照明照射実験風景
アートストリートを彩る色味のテストを
行った。

▼美しすぎるアートスポット 第1位に



出展：Lemmon8より
https://www.lemon8-app.com/@lemon8_travel/7265168570554991109?region=jp

▼2025年秋にナチュラルガーデン 第一期完成予定



*2026年初夏グランドオープン予定

事例紹介：MOA美術館（令和2年度認定）

文化観光の取り組み

館長自らのトップ営業による海外プロモーションを行い、
インバウンドの団体旅行者が拡大

▼香港での営業風景



事例紹介：MOA美術館（令和2年度認定）

文化観光の成果



好循環の創出

● 人材への再投資を実現

入館者数増に伴い入館料も増え従業員数は
R1年度と比較し121%と増員

● 組織への再投資を実現

DXチームを新設しSNSや各種メディアを活用した発信力を強化

● 各飲食店舗の売り上げ増にも貢献

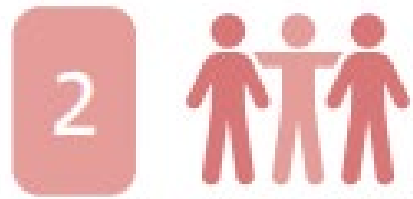
茶の庭アプローチ道路の舗装後、日本庭園の来場者増により
館の入館者の6割が各施設に来場

6店舗すべてが150%以上増と各飲食店舗の売り上げ増にも貢献

一人当たりの消費額が前年比26%増！（工芸品等高単価商品の売上増）

事例紹介：MOA美術館（令和2年度認定）

文化観光の成果



連携体制の構築

● 市内の周遊性向上

熱海市内の施設（起雲閣）でのサテライト展示により来館の誘致が実現し市内の周遊性向上！



● 前売り券販売数が**157%**（令和2年度比）と増加

熱海市の芸術祭などへの協力が進み、観光の視点も点から面へと広がった結果、市内宿泊施設と連携した前売り券販売数が157%（R2年度比）と増加！

● 幅広い世代が関心を持つ美術館へ

誘客力の高いイベントを核とし、地域と連携した広報宣伝を強化した結果、ガーデン構想を通じて幅広い世代が関心を持つ美術館へと発展！

事例紹介：MOA美術館（令和2年度認定）

文化観光の成果

3



満足度の向上

気軽にアートに触れる機会を拡充

館の広大な敷地においての動線が整い、
気軽にアートに触れる機会を拡充！



令和5年度には満足度86%を達成

美術品や諸施設のわかりやすい解説強化、
大型タッチディスプレイの設置、来訪者の利便性向上として
Wi-Fi環境整備等を通してR5には満足度86%を達成！



事例紹介：MOA美術館（令和2年度認定）

文化観光の成果



来訪者の増加

● SNSのフォロワー数が大幅に伸長

Xは263%、Instagramは310%、ウェブサイト訪問者数はR1年度と比較しPVは261%、ユーザー数は296%といずれもSNSのフォロワー数が大幅に伸長！（R2とR5比較）

● 年間入館者数が168%増

未来のアートファンやアーティストを育む画期的な展覧会で年間入館者数が168%増！（コロナ前R1とR5比較）

● 年間外国人入館者数が320%と大幅増

トップ営業による海外現地プロモーション、現地旅行社への訪問やWebプロモーションを通してインバウンド団体の来館が拡大し、年間外国人入館者数が320%と大幅増！（コロナ前R1とR5比較）

● 計70本以上の団体ツアー造成 全体で10カ国26社、134件3,668名のインバンド客の獲得

DMOと協働した海外宣伝事業を通して台湾及びタイの両国から獲得



福島県立博物館

(令和2年度認定)

具体的な文化観光での取り組み成果

事例紹介：福島県立博物館（令和2年度認定）



福島県の歴史・文化を紹介する総合博物館
会津地域の歴史・文化資源の活用により、地域独自の観光を生み出し
地域に根付いた本物の文化の提供に取り組む



事例紹介：福島県立博物館（令和2年度認定）

文化観光の取り組み



「つなぐ」というコンセプトのもと、
地域と博物館で自走する組織体制を構築

-
- ①会津のSAMURAI文化エリア
 - ②若松城下の商工文化エリア
 - ③奥会津エリアの3つの地域に分けて事業を組み立て実装

観光客増による地域の住民の誇りや愛情を育成し、
地域住民の観光客へのホスピタリティが向上することによる
観光客のリピート増の好サイクルを生み出すことに取り組む

事例紹介：福島県立博物館（令和２年度認定）

文化観光の取り組み


隣接し多くの観光客を集める若松城跡との共通チケットを導入し来館者を集めた
周辺の案内サインを改善し、城跡と博物館の回遊性を向上

▼若松城と福島県立博物館の共通チケット

三施設共通観覧券

けんぱくとお城を観るなら、共通観覧券がお得

県立博物館常設展と鶴ヶ城天守閣および茶室麒麟をお得な割引料金で観覧できる共通観覧券が発売中です。
共通観覧券はそれぞれの施設のチケット販売窓口にて販売しております。
けんぱくとお城、両方をお楽しみの際には、ぜひご利用ください。
なお、共通観覧券で県立博物館の企画展も割引料金でさらに大変お得にご覧いただけます。



▼若松城周遊域内の案内看板の改善



事例紹介：福島県立博物館（令和2年度認定）

文化観光の取り組み

- 博物館オリジナルのグッズ開発を行い、地域のものづくり事業者とのつながりを生み出した
- 会津（若松城下）／奥会津エリアのものづくり文化を感じることができると新商品の販売場所として飲食施設を運営する企業との連携体制を構築

▼雪国ものづくり食堂「つきない」では
「“食”を通して会津のものづくりに触れていただく
食堂」がコンセプト



（会津若松観光ナビ）

▼会津ならではのメニューを新規開発し
会津の工芸品で味わえる



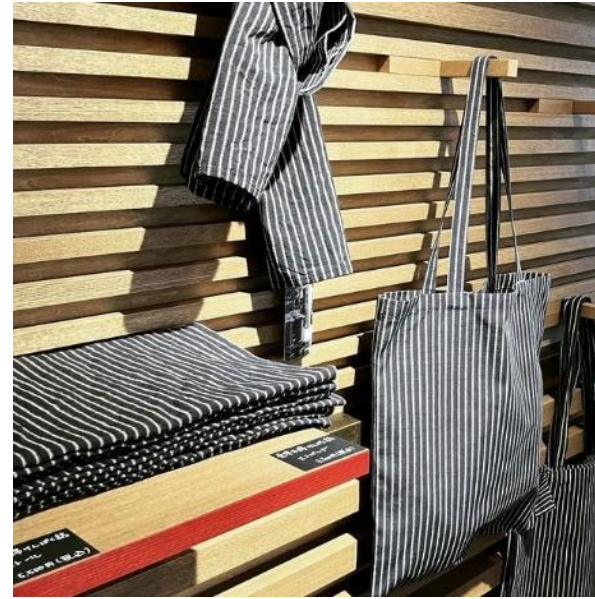
事例紹介：福島県立博物館（令和2年度認定）

文化観光の取り組み

▼会津塗の行程をディスプレイし
食事を提供する器にも会津塗を使用



▼飲食と関連性の高い工芸品の販売



事例紹介：福島県立博物館（令和2年度認定）

文化観光の取り組み

若松城下のものづくりの技と美、雪国のものづくりの技と美に出会うマルシェを開催

▼雪国ものづくりマルシェ



事例紹介：福島県立博物館（令和2年度認定）

文化観光の成果



好循環の創出

- 自走化を達成。地域への新たな資金循環としても機能

地域連携の軸となっている「雪国ものづくりマルシェ」についてはR5度から自走化を達成！地域への新たな資金循環としても機能！

- 経済循環の基盤に

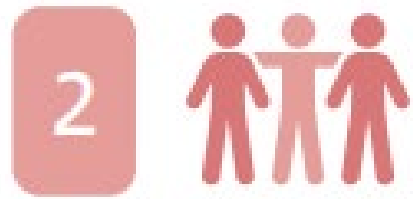
出展者数は15件だったR3年度と比較して、R6年度には53件と伸長。補助事業期間を通じて連携団体数も62件となり経済循環の基盤に！

- 循環する再投資の仕組みの構築

R5年度に新設した団体「一般社団法人 会津地域文化藝術フォーラム」と福島県立博物館との間で連携協定を締結し、事業での利益を地域の連携する団体等に循環する再投資の仕組みの構築！

事例紹介：福島県立博物館（令和2年度認定）

文化観光の成果



連携体制の構築

- 今後の収益事業の更なる拡大のための強固な基盤へ

「県博と連携する地域団体/工房/作家数」は、
R2年度の4件からR6年度においては118件と大きく拡大！

- 飲食施設を運営する企業との連携体制を構築

館内の飲食店を会津・奥会津エリアのものづくり文化を感じることができる新商品の販売場所として飲食施設を運営する企業との連携体制を構築！
飲食提供時にも新開発した商品をお客様に使用頂くことで、
実際に使ってみた上で店舗内で購入することができる体制を整備

- 24点の新商品を開発

R4年度から開始し、R6年度まで作品をリデザインした
会津本郷焼マグカップやふきん等24点の新商品を開発！

事例紹介：福島県立博物館（令和2年度認定）

文化観光の成果



満足度の向上

令和4年度から令和5年度で10%程向上

高い知識を有している博物館の学芸員との連携で
旅行ツアーの魅力が大幅に向上。

R4年度からR5年度で10%程向上！



環境整備

Wi-Fi整備やキャッシュレス化等の環境整備のほか
展示室のテーマ表記や周遊促進につながる体験型プログラムの
多言語化を実施

文化観光の成果



来訪者の増加

● SNSのフォロワー数が大幅に伸長

SNSでの発信やプロモーションを強化し、R6年度にはR2年度と比較し181%の105,505人が来館Xのフォロワー数は1,167(R2)→3,068(R6)と大幅に成長！

● 年間入館者数の増加

隣接した若松城跡と連携し福島県立博物館の共通チケットを販売。
R7年度（4月～9月）4,032枚（R5年度同期比2.17倍）
若松城跡内での案内サインも改善！

● 年間外国人入館者数も大幅増

海外プロモーションはJNTOより助言を受け公共交通機関（駅・高速バス）を活用したプロモーションやSNSでの情報発信を実施し、外国語ユーザーの来館者数はR2年度の112人と比較し418人と373%増を達成！

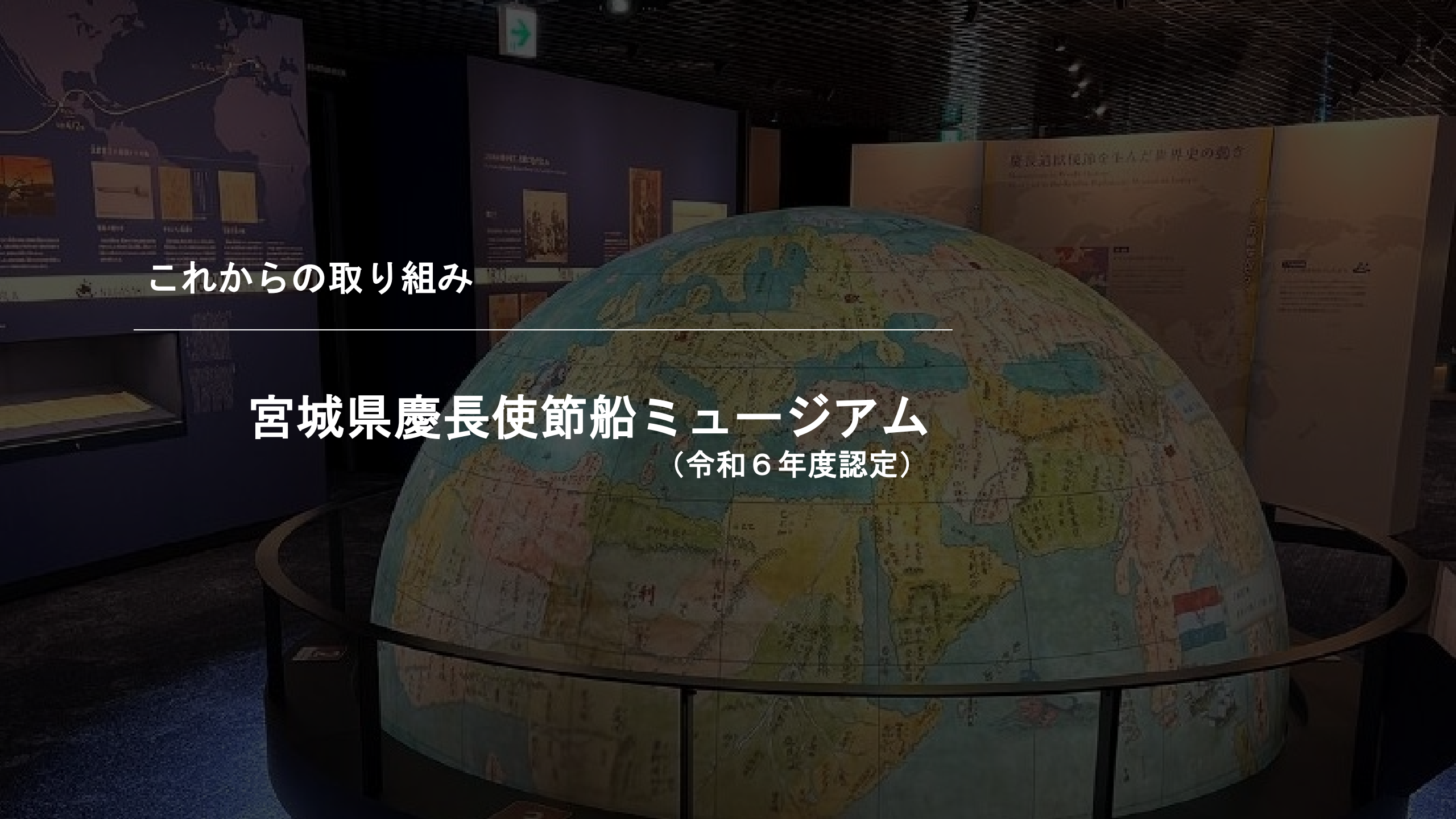
● ツアー参加者の大幅増

R4年度から実施したツアー造成数はR6年度までで11件、参加者は180名に！

これからの取り組み

宮城県慶長使節船ミュージアム

(令和6年度認定)



これからの取り組み

宮城県慶長使節船ミュージアム（サン・ファン館）（令和6年度認定）

宮城県石巻市にあり、江戸時代の初めに木造洋式帆船でヨーロッパをめざした慶長遣欧使節団の歴史や大航海の様子など、彼らの挑戦の歴史と帆船文化を紹介するミュージアム
（2024年10月にリニューアル）



サン・ファン館
MIYAGI
SANT JUAN BAUTISTA
MUSEUM



事例紹介：宮城県慶長使節船ミュージアム（サン・ファン館）（令和6年度認定）

文化観光の取り組み



夢をのせ、海をわたり、世界をひらく
様々な困難に対し夢と希望を持って
前に進んでいきたい」
という想いを来館者と共有する

慶長遣欧使節と使節船が織りなすあらゆる要素やストーリーに触れてもらうことで、好奇心・挑戦心がかきたてられ、自分の世界を広げることができる施設を目指す

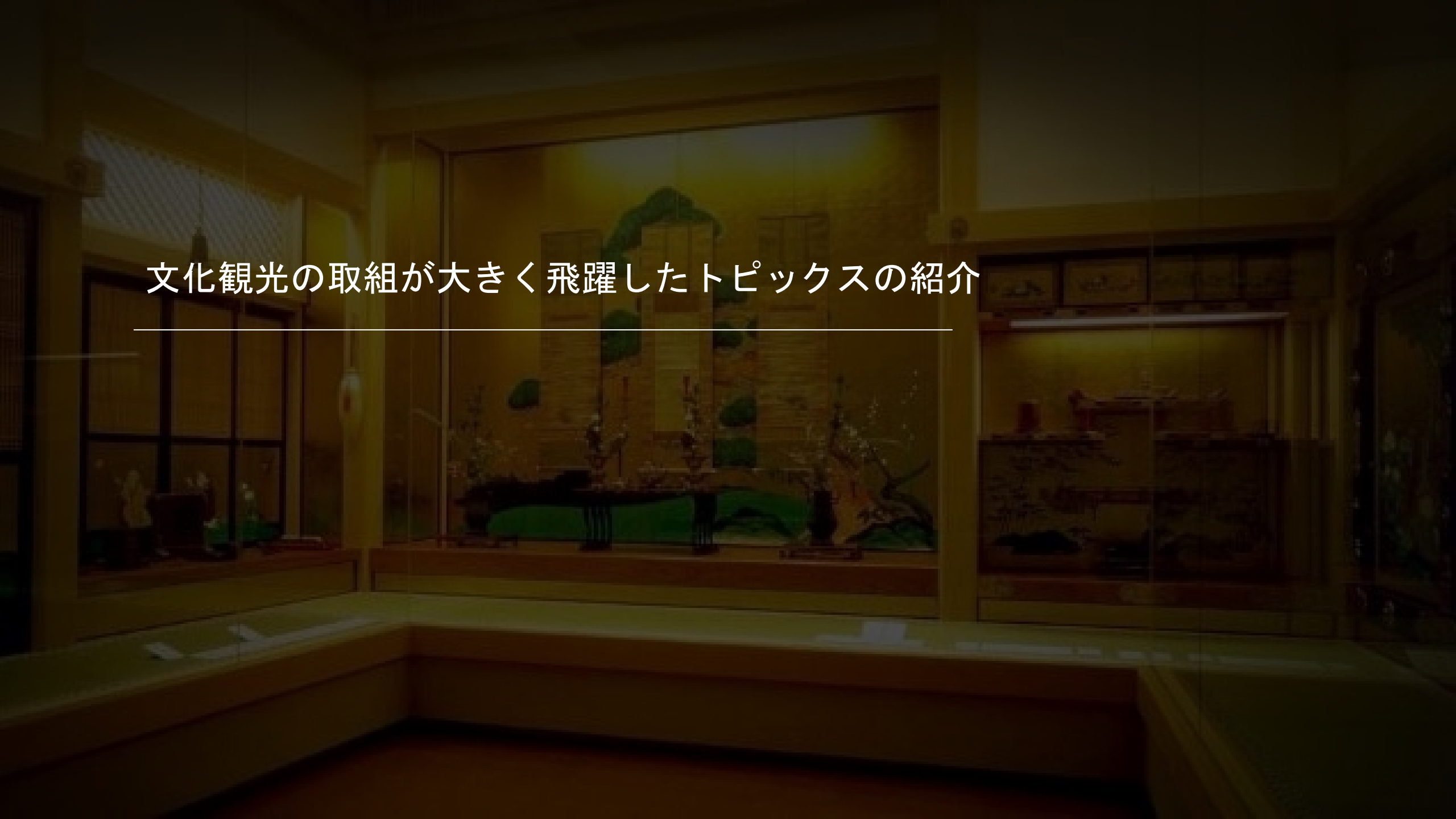
▼今後の取組

慶長遣欧使節の意義を伝えるコンテンツ整備

高付加価値コンテンツの造成・提供

ミュージアムカフェにおける飲食の提供・商品開発

文化観光の取組が大きく飛躍したトピックスの紹介



事例紹介

徳川美術館（令和2年度認定）

家康の遺愛品を中心に、尾張徳川家400年の歴史を今に伝える名古屋の美術館



事例紹介：徳川美術館（令和2年度認定）

文化観光の取り組みでここまで成長



次代を見据えたりブランディングを実施しこれまでの館の取組を一新

- 有志の若手や中堅職員の有志で構成するワーキンググループを組成、次代を見据えた活発な議論を実施
- ブランディングを一新し館内の写真撮影を可にしたり来館者視点での改革を実施
- ナイトミュージアムの運営改善、外販の検討、収益性の改善、広報PR施策におけるパーパス、メッセージを整理

事例紹介：徳川美術館（令和2年度認定）

文化観光の取り組みでここまで成長

2025/6/14～9/7「夏季特別展 時をかける名刀」の入館者数は 101,099名

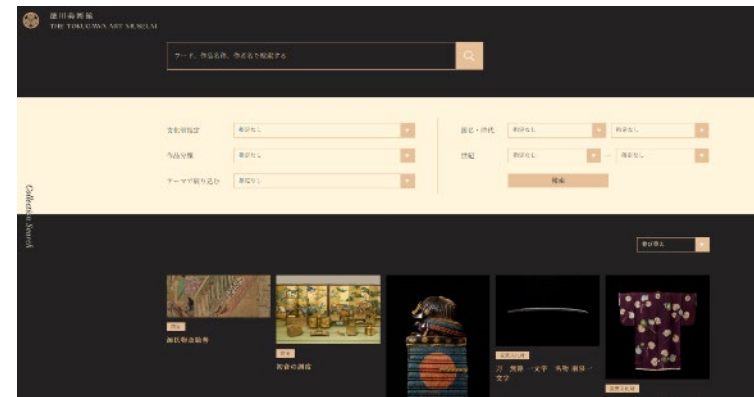
- 歴史ある古美術の同館が、若い世代とのコミュニケーションの形を熟慮した結果として刀剣乱舞OnLineとの完全コラボレーションに踏み切る
- 従来の刀剣ファンに加え、若年層の取り込みを積極的に意識
- 会期中に講堂を「特設売店」に変え、刀剣乱舞関連商品を企画・販売しグッズ売上を大幅に伸ばした
- その周辺中庭を飲食・休憩スペースとして開放、キッチンカーも配置
- これまで発想がなかったさまざまな来館者サービスを実施しグッズ売上金額、カフェなど飲食売上など含めて大きな経済的効果を獲得
- コーティングで専門家からの指導を受けた情報発信のノウハウとツールを活かし、プレスリリース、SNSなどで当館パーパスを伝えながら積極活用
- 9月現在で既に昨年の同館の総来館者数を超える成果



事例紹介：徳川美術館（令和2年度認定）

文化観光の取り組みでここまで成長

- 文化観光で造成した徳川ナイトミュージアムは**全23夜即完！**
7,700円×100名限定×23回（通常日中の入館料は1,600円）
- 徳川美術館メンバーシップ（会員制度）をコーチング指導の結果、令和6年4月リニューアル
会員数や会費収入が激増！（R5年からR7年現在で3倍以上に）
未来への再投資ができる原資に！
- 新たなブランディングを元に**ホームページをリニューアル**し格式高い美術館の上質な質感をまといながらも
現代的価値をもって人々とコミュニケーションできる新しい世界観が好評！
コレクションサーチでは所蔵品の美しい画像とともに、時代を超える満ち足りた鑑賞体験に
導くことができる



地域と文化の未来をつくる文化観光

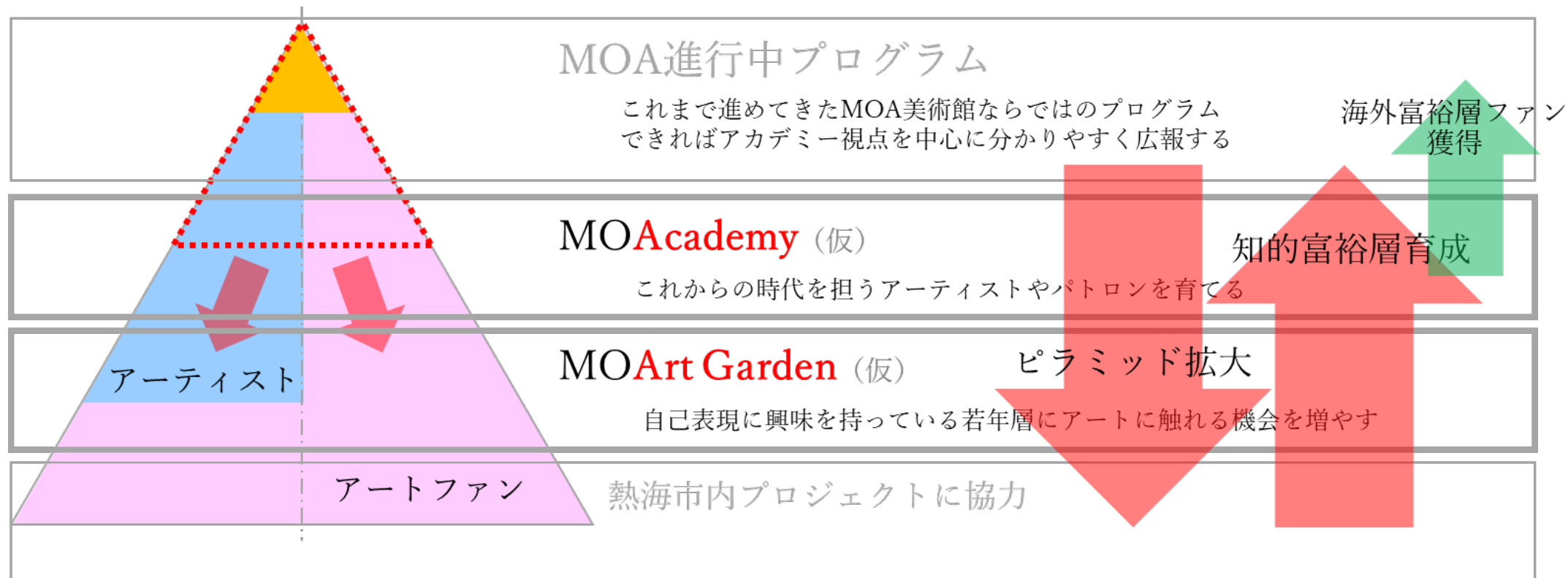
パネルディスカッション 参考資料



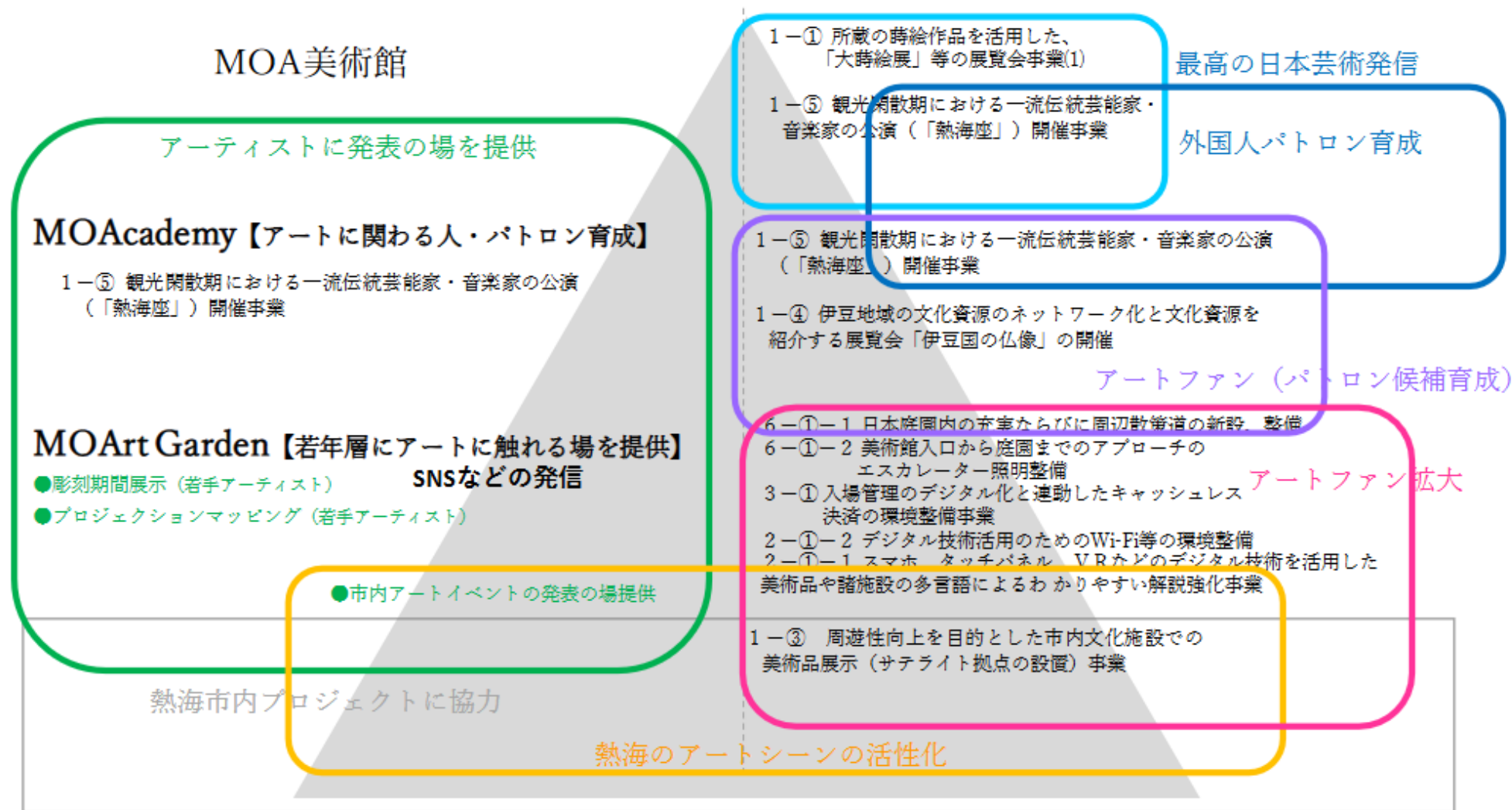
パネルディスカッション「地域における文化観光の実践の声」

参考資料37

MOA美術館：「日本の芸術文化を創り、守り、育てるプラットフォーム」を実現する要素をピラミッド構造で整理



MOA美術館：「日本の芸術文化を創り、守り、育てるプラットフォーム」を実現するピラミッド構造の実現に必要な事業を設定



MOA美術館：周辺散策道の新設、整備



改修前のアプローチ道路



改修後は庭園との一体感が醸成された。



竹林遊歩道が改修され周遊性が増し、来場が増加している。



パネルディスカッション「地域における文化観光の実践の声」

参考資料40

MOA美術館：建築や景観を活かしたフォトスポットの設置を実施

▼円形ホールに至る通路のフォトスポットとしての演出 ▼美しすぎるアートスポット1位に



令和6年度の照明照射実験風景
アートストリートを彩る色味のテストを行った。



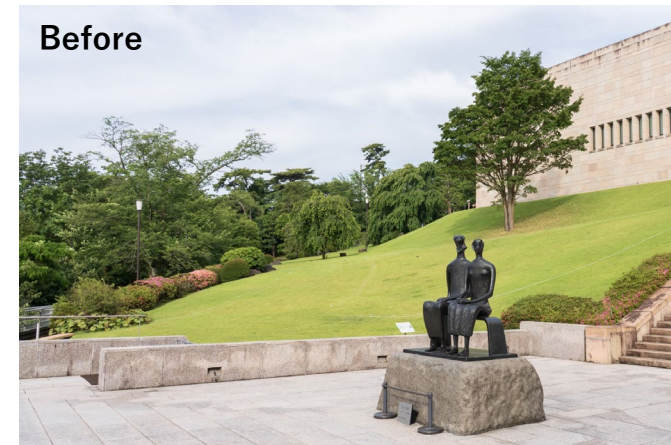
372人が保存しました

362

【屋内で楽しむ！】美しすぎるアートスポット」ランキングTOP10

出展：Lemmon8より
https://www.lemon8-app.com/@lemon8_travel/7265168570554991109?region=jp

▼2025年秋にナチュラルガーデン第一期完成予定



・2026年初夏グランドオープン予定

パネルディスカッション「地域における文化観光の実践の声」

参考資料41

MOA美術館：館長自らのトップ営業による海外プロモーションを行い、インバウンドの団体旅行者が拡大

▼香港での営業風景



MOA美術館：館長自らのトップ営業による海外プロモーションを行い、インバウンドの団体旅行者が拡大

▼海外トップセールス営業資料（工芸ダイニング×茶の湯）

インバウンド用 MOA 美術館 日本文化体験 特別プログラム①		地域：静岡県（伊豆）	市町名：熱海市
タイトル：日本の美を味わう和食体験「工芸ダイニング」×茶の湯体験 ー日本の文化に浸るー			
個人向け / 団体向け		ファミリー向け / シニア向け / 女子向け / カップル向け	
【問合せ】MOA 美術館 営業部（MOA 美術館内） 担当：斉藤 嘉輝（SAITO yoshiaki） email: yo-saito@moaart.or.jp 熱海市桃山町 26-2 /FAX: 0557-84-2570			
内容	<p>美術館の入館＋見どころガイド＋昼食「工芸ダイニング」＋茶の湯体験</p> <p>MOA 美術館の日本庭園は、150 本以上あるモミジと伝統的な日本建築が見事に調和し、まるで京都のような情緒溢れる雰囲気の中、四季折々の庭園美を楽しむことができます。特に、春から初夏にかけての新緑の頃の「青もみじ」、秋の紅葉の頃の「赤もみじ」の美しさには心を奪われます。本プランは、その美しい庭園を中心に「工芸ダイニング」と茶の湯体験という、二つの体験プログラムをセットで体感することで日本の文化を深く堪能いただけるプランです。</p> <p>【スケジュール例】</p> <p>11：00～ エスカレーター入口到着、スタッフの出迎え、見どころガイドを聞きながら昼食会場へ移動</p> <p>11：30～ 和食処「二條新町」で昼食「工芸ダイニング」 ※料理長等から食と工芸の解説付き</p> <p>12：10～ 茶室「一白庵」で茶の湯体験</p> <p>※最初に点て出してお抹茶とお菓子をお召し上がりいただきます。その後、お連れの方々と茶室でお抹茶を点て合う体験を行っていただきます（相談可）。</p> <p>12：50～ 美術品鑑賞、SHOP でお買い物</p> <p>13：40～ 美術館を出発</p>		
設定日及び時間	開館日／9:30～16:30（入館は 16:00 まで） 開店時間 和食処「二條新町」／11:00～15:30（L.O.15:00） 茶室「一白庵」／11:00～16:00		
設定除外日	休館日		
設定日以外の受入可否	不可・相談可能		
所要時間	160 分～		
スタッフ対応言語	<input checked="" type="checkbox"/> 英語 <input checked="" type="checkbox"/> 中国語 <input type="checkbox"/> 仏語 <input type="checkbox"/> 韓国語 <input type="checkbox"/> スペイン語 <input type="checkbox"/> イタリア語 <input type="checkbox"/> その他：		
ガイド付きイホン対応言語	<input checked="" type="checkbox"/> 英語 <input type="checkbox"/> 中国語 <input type="checkbox"/> 仏語 <input type="checkbox"/> 韓国語 <input type="checkbox"/> スペイン語 <input type="checkbox"/> イタリア語 <input type="checkbox"/> その他：		
スタッフ以外の多言語対応	<input checked="" type="checkbox"/> サービス内容や楽しみ方がわかる案内を掲示、あるいは用紙で用意している		

新緑 ▶



紅葉



150 本以上あるモミジの美しさは、圧巻！




「工芸ダイニング」と茶の湯体験（イメージ）



サービス	対応言語：英語、繁体字中国語、簡体字中国語、韓国語、タイ語 サービス内容を写真等でわかるような案内を掲示、あるいは用紙での準備がある		
開催場所（集合場所）	MOA 美術館（エスカレーター入口）		
所在地	〒413-8511 熱海市桃山町 26-2		
受付開始日	1 年前から		
最少催行人員	5 名	最大受入人数	24 名／回（25 名以上は要相談）
申込方法	メール FAX 電話 当日チケット購入のみ その他：		
国際線アクセス	羽田空港から電車で 60 分 車で 110 分 成田空港から電車で 100 分 車で 170 分 伊丹空港から電車で 190 分 車で 280 分		
交通アクセス	JR 熱海駅より東海バスで 7 分「MOA 美術館」下車徒歩すぐ		
駐車場	あり：大型バス可（約 10 台） 駐車料金 無料 あり：普通自動車のみ可（約 250 台） 駐車料金 無料 なし		
お客様利用方法	チケット原券提示 受付時にネームのみで対応可 受付時に予約確認書提示 予約確認メールのプリントアウト画面提示 モバイル端末画面の提示		
設定可能期間	通年		
画像の送付	対応可 不可		

MOA美術館：館長自らのトップ営業による海外プロモーションを行い、インバウンドの団体旅行者が拡大

▼海外トップセールス営業資料（黄金の茶室）

インバウンド用 MOA 美術館 日本文化体験 特別プログラム②	地域：静岡県（伊豆）	市町名：熱海市
タイトル：豊臣秀吉の大阪城から蘇った「黄金の茶室」貸し切り体験		
個人向け / 団体向け	ファミリー向け / シニア向け / 女子向け / カップル向け	
【問合せ】MOA美術館 営業部（MOA美術館内） 担当：斉藤 嘉輝（SAITO yoshiaki）email: yo-saito@moaart.or.jp 熱海市桃山町 26-2 /FAX: 0557-84-2570		

内容	<p>美術館の入館 + 開館前 or 閉館後「黄金の茶室」特別鑑賞+黄金の茶碗で茶の湯体験</p> <p>通常、櫓があり近づくこともできない秀吉ゆかりの純金の「黄金の茶室」（復元）。本プランは、開館前及び閉館後の時間、特別に「黄金の茶室」を貸し切り、学芸員の引率で櫓を乗り越え、板の間に上がり解説を聴きながらじっくりと鑑賞。目もくらむような純金の輝きを間近に、茶室をつくった秀吉の心情に迫ります。鑑賞後は、櫓の外で「黄金の茶室」を眺めながら、実際に茶室に展示されている黄金の茶碗のレプリカでお抹茶と和菓子をお召し上がりいただきます。</p> <p>【スケジュール例】</p> <table><tr><td>＜開館前＞</td><td>＜閉館後＞</td></tr><tr><td>8：45～ エスカレーター入口到着、 スタッフのアテンドで移動</td><td>15：00～ エスカレーター入口到着、 スタッフのアテンドで移動</td></tr><tr><td>9：00～ 「黄金の茶室」特別鑑賞</td><td>15：30～ 美術館自由鑑賞</td></tr><tr><td>9：15～ 黄金の茶碗で呈茶体験</td><td>16：40～ 「黄金の茶室」特別鑑賞</td></tr><tr><td>9：30～ 美術館自由鑑賞 ※9:30～通常開館</td><td>16：55～ 黄金の茶碗で呈茶体験 17：10～ 美術館を出発 ※～16:30 通常開館</td></tr></table>		＜開館前＞	＜閉館後＞	8：45～ エスカレーター入口到着、 スタッフのアテンドで移動	15：00～ エスカレーター入口到着、 スタッフのアテンドで移動	9：00～ 「黄金の茶室」特別鑑賞	15：30～ 美術館自由鑑賞	9：15～ 黄金の茶碗で呈茶体験	16：40～ 「黄金の茶室」特別鑑賞	9：30～ 美術館自由鑑賞 ※9:30～通常開館	16：55～ 黄金の茶碗で呈茶体験 17：10～ 美術館を出発 ※～16:30 通常開館
	＜開館前＞	＜閉館後＞										
8：45～ エスカレーター入口到着、 スタッフのアテンドで移動	15：00～ エスカレーター入口到着、 スタッフのアテンドで移動											
9：00～ 「黄金の茶室」特別鑑賞	15：30～ 美術館自由鑑賞											
9：15～ 黄金の茶碗で呈茶体験	16：40～ 「黄金の茶室」特別鑑賞											
9：30～ 美術館自由鑑賞 ※9:30～通常開館	16：55～ 黄金の茶碗で呈茶体験 17：10～ 美術館を出発 ※～16:30 通常開館											
設定日及び時間	開館日／＜開館前＞8：45～9：30、＜閉館後＞15：00～17：10											
設定除外日	休館日											
設定日以外の受入可否	不可・相談可能											
所要時間	＜開館前＞45分～ ＜閉館後＞130分～											
スタッフ対応言語	<input checked="" type="checkbox"/> 英語 <input checked="" type="checkbox"/> 中国語 <input type="checkbox"/> 仏語 <input type="checkbox"/> 韓国語 <input type="checkbox"/> スペイン語 <input type="checkbox"/> イタリア語 <input type="checkbox"/> その他：											
ガイド付きイヤホン対応言語	<input type="checkbox"/> 英語 <input type="checkbox"/> 中国語 <input type="checkbox"/> 仏語 <input type="checkbox"/> 韓国語 <input type="checkbox"/> スペイン語 <input type="checkbox"/> イタリア語 <input type="checkbox"/> その他：											
スタッフ以外の多言語対応サービス	<input checked="" type="checkbox"/> サービス内容や楽しみ方がわかる案内を掲示、あるいは用紙で用意している 対応言語：英語、繁体字中国語、簡体字中国語、韓国語、タイ語 <input checked="" type="checkbox"/> サービス内容を写真等でわかるような案内を掲示、あるいは用紙での準備がある											
開催場所（集合場所）	MOA美術館（エスカレーター入口）											
所在地	〒413-8511 熱海市桃山町 26-2											



復元された純金の「黄金の茶室」



特別鑑賞の様子



黄金の茶碗呈茶（イメージ）

受付開始日	1年前から		
最小催行人数	5名	最大受入人数	15名／回（16名以上は2回転）
申込方法	<input checked="" type="checkbox"/> メール <input checked="" type="checkbox"/> FAX <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> 当日チケット購入のみ <input type="checkbox"/> その他：		
国際線アクセス	羽田空港から電車で 60分 車で 110分 成田空港から電車で 100分 車で 170分 伊丹空港から電車で 190分 車で 280分		
交通アクセス	JR 熱海駅より東海バスで7分「MOA美術館」下車徒歩すぐ		
駐車場	<input checked="" type="checkbox"/> あり：大型バス可（約10台） 駐車料金 無料 <input checked="" type="checkbox"/> あり：普通自動車のみ可（約250台） 駐車料金 無料 <input type="checkbox"/> なし		
お客様利用方法	<input type="checkbox"/> チケット原券提示 <input type="checkbox"/> 受付時にネームのみで対応可 <input checked="" type="checkbox"/> 受付時に予約確認書提示 <input type="checkbox"/> 予約確認メールのプリントアウト書面提示 <input type="checkbox"/> モバイル端末画面の提示		
設定可能期間	通年		
画像の送付	<input checked="" type="checkbox"/> 対応可 <input type="checkbox"/> 不可		

MOA美術館：館長自らのトップ営業による海外プロモーションを行い、インバウンドの団体旅行者が拡大

▼海外トップセールス営業資料（芸者パフォーマンス×茶の湯体験）

インバウンド用 MOA 美術館 日本文化体験 特別プログラム③		地域：静岡県(伊豆)	市町村：熱海市	
タイトル：熱海文化「芸者パフォーマンス」×茶の湯体験				
個人向け / 団体向け		ファミリー向け / シニア向け / 女子向け / カップル向け		
【問合せ】MOA 美術館 営業部 (MOA 美術館内) 担当：斉藤 嘉輝 (SAITO yoshiaki) email: yo-saito@moaart.or.jp 熱海市桃山町 26-2 / FAX: 0557-84-2570				

内容	<p>美術館の入館＋「芸者パフォーマンス」観賞＋茶の湯体験</p> <p>本プランは、特別に MOA 美術館の日本庭園内に佇むお茶室「一白庵」を貸し切り、熱海の伝統文化である「芸者パフォーマンス」と茶の湯体験という二つの日本文化体験をお楽しみいただけます。芸者とは、踊りや三味線などの日本の伝統芸能で宴を盛り上げるプロの方々のこと。京都では修行中の芸者さんのことを「舞妓さん」と呼んでいます。熱海では現在でも 70 名ほどの芸者が活躍する日本でも屈指の「芸者の町」と言われています。ぜひ、この機会に普段では中々見ることができない、厳しいお稽古に裏付けされた芸者の艶やかな舞と日本文化を代表する茶の湯を心行くまでお楽しみください。</p> <p>【スケジュール例】</p> <p>10：00～ エスカレーター入口到着、スタッフの出迎え、見どころガイドを聞きながら庭園へ移動</p> <p>10：30～ 茶室「一白庵」を貸し切り、「芸者パフォーマンス」観賞、その後、茶の湯体験</p> <p>11：30～ 美術品鑑賞、SHOP でお買い物</p> <p>12：30～ 美術館を出発</p>
設定日及び時間	開館日／9：30～16：30（入館は 16:00 まで）
設定除外日	休館日
設定日以外の受入可否	不可・相談可能
所要時間	150 分～
スタッフ対応言語	英語 中国語 仏語 韓国語 スペイン語 イタリア語 その他：
ガイド付きイヤホン対応言語	英語 中国語 仏語 韓国語 スペイン語 イタリア語 その他：
スタッフ以外の多言語対応サービス	サービス内容や楽しみ方がわかる案内を掲示、あるいは用紙で用意している 対応言語：英語、繁体字中国語、簡体字中国語、韓国語、タイ語 サービス内容を写真等でわかるような案内を掲示、あるいは用紙での準備がある
開催場所（集合場所）	MOA 美術館（エスカレーター入口）



茶室「一白庵」店内



「芸者パフォーマンス」と茶の湯体験（イメージ）

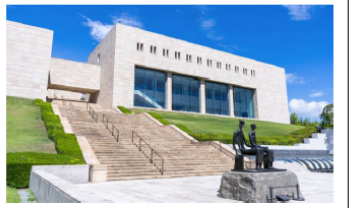
所在地	〒413-8511 熱海市桃山町 26-2		
受付開始日	1 年前から		
最少催行人員	16 名（15 名以下は要相談）	最大受入人数	24 名／回（25 名以上は要相談）
申込方法	<input checked="" type="checkbox"/> メール <input checked="" type="checkbox"/> FAX <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> 当日チケット購入のみ <input type="checkbox"/> その他：		
国際線アクセス	羽田空港から電車で 60 分 車で 110 分 成田空港から電車で 100 分 車で 170 分 伊丹空港から電車で 190 分 車で 280 分		
交通アクセス	JR 熱海駅より東海バスで 7 分「MOA 美術館」下車徒歩すぐ		
駐車場	<input checked="" type="checkbox"/> あり：大型バス可（約 10 台） 駐車料金 無料 <input checked="" type="checkbox"/> あり：普通自動車のみ可（約 250 台） 駐車料金 無料 <input type="checkbox"/> なし		
お客様利用方法	<input type="checkbox"/> チケット原券提示 <input type="checkbox"/> 受付時にネームのみで対応可 <input checked="" type="checkbox"/> 受付時に予約確認書提示 <input type="checkbox"/> 予約確認メールのプリントアウト書面提示 <input type="checkbox"/> モバイル端末画面の提示		
設定可能期間	通年		
画像の送付	<input checked="" type="checkbox"/> 対応可 <input type="checkbox"/> 不可		

MOA美術館：館長自らのトップ営業による海外プロモーションを行い、インバウンドの団体旅行者が拡大

▼海外トップセールス営業資料（閉館後の鑑賞プラン）

インバウンド用 MOA 美術館 日本文化体験 特別プログラム④		地域：静岡県(伊豆)	市町名：熱海市
タイトル：展示室を貸し切り鑑賞 ー閉館後のゆったり鑑賞プランー			
個人向け / 団体向け		ファミリー向け / シニア向け / 女子向け / カップル向け	
【問合せ】MOA美術館 営業部 (MOA美術館内) 担当：斉藤 嘉輝 (SAITO yoshiaki) email: yo-saito@moaart.or.jp 熱海市桃山町 26-2 / FAX: 0557-84-2570			

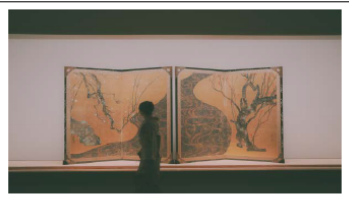
内容	<p>美術館の入館 + 閉館後の展示室を貸し切り鑑賞（学芸員の解説付き）!!</p> <p>本プランは、通常では味わうことができない閉館後の静寂で美しい展示空間を貸し切り、特別に学芸員から企画展や展示されている美術品の見どころを聞きながら、ゆったりと、そしてじっくりとご鑑賞いただける贅沢なプランです。もちろん、基本写真も撮り放題です！</p> <p>【スケジュール例】</p> <p>15：50～ エスカレーター入口到着、スタッフの出迎え、見どころガイドを聞きながら本館へ移動</p> <p>16：30～ SHOP でお買い物</p> <p>16：40～ 展示室を貸し切り、特別鑑賞 ※～16：30 通常閉館</p> <p>18：00 遂に美術館を出発</p>		
設定日及び時間	開館日／15：50～18：00		
設定除外日	休館日		
設定日以外への受入可否	不可・相談可能		
所要時間	130分～		
スタッフ対応言語	<input type="checkbox"/> 英語 <input type="checkbox"/> 中国語 <input type="checkbox"/> 仏語 <input type="checkbox"/> 韓国語 <input type="checkbox"/> スペイン語 <input type="checkbox"/> イタリア語 <input type="checkbox"/> その他：		
ガイド付きイヤホン対応言語	<input type="checkbox"/> 英語 <input type="checkbox"/> 中国語 <input type="checkbox"/> 仏語 <input type="checkbox"/> 韓国語 <input type="checkbox"/> スペイン語 <input type="checkbox"/> イタリア語 <input type="checkbox"/> その他：		
スタッフ以外の多言語対応サービス	<input type="checkbox"/> サービス内容や楽しみ方がわかる案内を掲示、あるいは用紙で用意している 対応言語：英語、繁体字中国語、簡体字中国語、韓国語、タイ語 <input type="checkbox"/> サービス内容を写真等でわかるような案内を掲示、あるいは用紙での準備がある		
開催場所（集合場所）	MOA美術館（エスカレーター入口）		
所在地	〒413-8511 熱海市桃山町 26-2		
受付開始日	1年前から		
最小催行人数	要相談	最大受入人数	設定無し
申込方法	<input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> FAX <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> 当日チケット購入のみ <input type="checkbox"/> その他：		



美術館の本館、外壁はインド砂岩



現代美術作家・杉本博司デザインの美しい展示空間



美術品鑑賞のイメージ

国際線アクセス	羽田空港から電車で 60 分 車で 110 分 成田空港から電車で 100 分 車で 170 分 伊丹空港から電車で 190 分 車で 280 分
交通アクセス	JR 熱海駅より東海バスで 7 分「MOA 美術館」下車徒歩すぐ
駐車場	<input type="checkbox"/> あり：大型バス可（約 10 台） 駐車料金 無料 <input type="checkbox"/> あり：普通自動車のみ可（約 250 台） 駐車料金 無料 <input type="checkbox"/> なし
お客様利用方法	<input type="checkbox"/> チケット原券提示 <input type="checkbox"/> 受付時にネームのみで対応可 <input type="checkbox"/> 受付時に予約確認書提示 <input type="checkbox"/> 予約確認メールのプリントアウト書面提示 <input type="checkbox"/> モバイル端末画面の提示
設定可能期間	通年
画像の送付	<input type="checkbox"/> 対応可 <input type="checkbox"/> 不可

パネルディスカッション「地域における文化観光の実践の声」

参考資料46

MOA美術館：館の広大な敷地においての動線が整い、気軽にアートに触れる機会を拡充



パネルディスカッション「地域における文化観光の実践の声」

参考資料47

MOA美術館：熱海市内の施設（起雲閣）でのサテライト展示により来館の誘致が実現し市内の周遊性向上

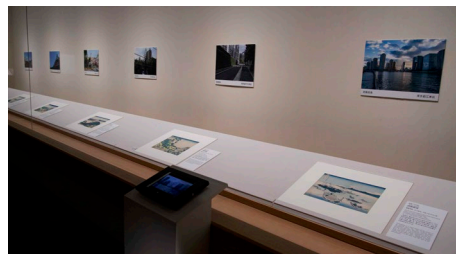


パネルディスカッション「地域における文化観光の実践の声」

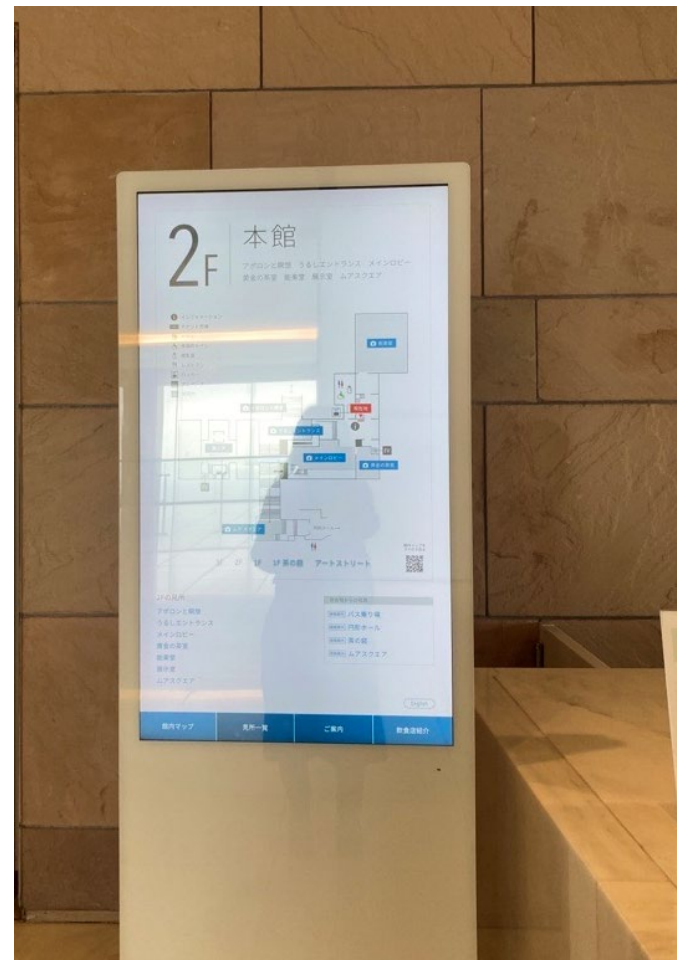
参考資料48

MOA美術館：美術品や諸施設のわかりやすい解説強化、大型タッチディスプレイの設置

▼企画展「吉田博 今と昔の風景」では版画の現物と現在の風景を比較できる



▼大型タッチディスプレイ



パネルディスカッション「地域における文化観光の実践の声」

参考資料49

MOA美術館：茶の庭アプローチ道路の舗装後、日本庭園の来場者増により、館の入館者の6割が各施設に来場。
6店舗すべてが150%以上増と各飲食店舗の売り上げ増にも貢献。 一人当たりの消費額が前年比26%増！



パネルディスカッション「地域における文化観光の実践の声」

参考資料50

MOA美術館：「ポケモン展」及び、光琳「国宝紅白梅図屏風」×「風神雷神図屏風」の開催を通して、ポケモン展13万人入館・光琳展5万4千人が来館。5年間を経て入館者は約160%向上し、入館料も増えて次なる再投資へと繋がっている。



パネルディスカッション「地域における文化観光の実践の声」

参考資料51

MOA美術館：北斎展フィルムプロジェクションの様子



MOA美術館：文化観光の5年間の振り返り

1. 企画策定（種まき）

○出来たこと

【コーチングによる方向性と事業の柱の確定】

コーチングを通して、MOA美術館では、個別事業をピラミッド型の事業モデルに位置づけ、裾野を広げる取組みとして、「アカデミー」、「ガーデン」の方向性を位置づけた。テーマとしては、「日本の芸術・文化観光を、創り、守り、育てるプラットフォーム（ひな形）」をベースに事業を進め、「最高の日本芸術発信」をもって、「アートファンの拡大」、「外国人パトロン育成」等の事業の柱を定めた。

△課題

1. 文化・経済・観光の好循環を生み出す
2. 文化資源の魅力を伝える情報提供のあり方や理解の場の提供
3. インバウンド対策の強化
4. ラグジュアリー層・富裕層へ向けた上質なブランドイメージの発信
5. 熱海を中心とした伊豆・箱根広域観光圏における文化資源の有機的連携による周遊の創出

2. 実施（開花）

○出来たこと

【各事業の進展】

- ・アートガーデン構想への着手・日本庭園へのアプローチ道路の舗装（R3年）
- ・「大蔭絵展」等の開催による展覧会事業の強化（R4年）
- ・フォトスポットの設置（万華鏡、エスカ通路、メインロビー、竹林）（R5年）
- ・SNS・HPによる「おしゃれを楽しむ美術館」のキャンペーンを実施（令和5年）
- ・竹林遊歩道の舗装（R5年）
- ・海外プロモーションの開始／海外旅行社への営業活動の開始（令和5～6年）
- ・ナチュラルガーデンの造成開始（令和6年）

△課題

【富裕層・パトロンとの繋がりが課題】

各事業を進める中で、その成果をHPやSNSを通して発信した結果、若い世代間の話題を呼び、来館者の増加へと繋がりが、ピラミッドの裾野部分である「アートファン」の拡大には繋がってきているが、「外国人パトロン育成」等、富裕層との繋がりを持つことに課題が残った。

○出来たこと

【アートガーデン構想の進展から再投資による事業継続へ】

アートガーデン構想に向けて、茶の庭アプローチ道路や竹林遊歩道を整備した結果、日本庭園への来場者が完成前との比較で153%増加した。更には、その流れが各飲食店舗の売り上げ増にも貢献する好循環となり、次なるナチュラルガーデン造成へと繋がる中で、令和6年11月に第1期工事が完了した。令和7年度は、その第2期工事として再投資し、自己資金も投資する自走事業として事業の継続を行う。

【点から面へ：地域との協働・熱海市及び熱海DMOとの連携へ発展】

ポケモン展を中心に、地域との協働から展覧会の広報が進み、更に熱海市の芸術祭等の協力も進む等、点から面へと観光を進めた結果、熱海市及び熱海のDMOと共にインバウンドに取り組める体制づくりが進んだ。

【人材への投資】

海外プロモーションを通して、多くの海外旅行団体が来館する中、特に数の多い台湾受入れの背景として、職員による中国語通訳が好評を得ており、更なる誘致に向けて営業課の人員強化を行った。（R6年）

△課題

ナチュラルガーデンが新たな、フォトスポットとして話題性を高め、発信を強化し、インバウンドの増加につなげる。

4. 投資（畑耕し）

○出来たこと

【アートファン拡大・パトロン育成のためのブランディングへ】

各事業を進める中で、課題としてのアートファン・パトロンの育成を進めるためには、MOA美術館のブランディングが急務との方向性が定まり、組織編制としてDXチームを編成した結果、Webでの情報発信を通して、TIKTOKが主催するLemon8で「美しすぎるアートスポット」として1位を獲得し、メディアへの露出や話題性が高まった。

【ユニークベニューによる話題性の向上】

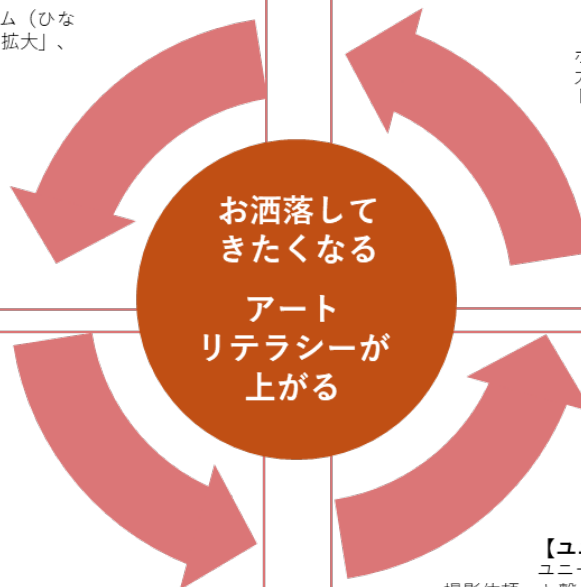
ユニークベニューとして、映画やCM、PV等の撮影依頼を積極的に受け入れた結果、多くの撮影依頼へと繋がりが、撮影本数は、5年間で動画30件、スチール81件と年々増え続け、メディアへの露出が高まり次なる撮影の誘致や来館者へと繋がっていった。

【展覧会事業及び、海外プロモーションによる来館者増の成果】

広報発信活動から話題性が高まった結果、展覧会事業による来館者増の増加へと繋がりが、「ポケモン展」13万人来館・「光琳展」5万4千人という記録的な来館者数となり、5年間を経て来館者は約令和元年度との比較で160%向上し、入館料も増えて次なる再投資へと繋がっている。また、海外プロモーションとして、現地旅行社への訪問やWebプロモーションを通して、団体の来館が拡大した。（10カ国26社、134件3,668名の来館）

△課題

ポケモン展、風神雷神展の開催をはじめ、HP/SNSでの発信を通して、多くの外国人入館者が訪れたが、インバウンドのデータ分析に課題が残る



MOA美術館：アートガーデン構想の振り返り

1. 企画策定（種まき）

○出来たこと 【コーチングテーマ及び計画の策定】

コーチングを通して、MOA美術館では、個別事業をピラミッド型の事業モデルに位置づけ、裾野を広げる取組みとして、「アカデミー」、「ガーデン」の方向性を位置づけた。テーマとしては、「日本の芸術・文化観光を、創り、守り、育てるプラットフォーム（ひな形）」をベースに事業を進め、「最高の日本芸術発信」をもって、「アートファン拡大」、「外国人パトロン育成」等の方向性を定めた。

△課題

【日本庭園への来場者数の増加】

当館の日本庭園には、江戸時代の茶室「樵亭」や尾形光琳の屋敷を復元した「光琳屋敷」等、日本建築に身近に触れることができ、和的な雰囲気が充実しているが、本館から茶の庭入口までのアプローチはアスファルト舗装のため、著しく雰囲気を崩しており、本館から一見しただけでは日本庭園があるように思えず、足を運ぶ来館者が少ないことが課題となっていた。今後、日本庭園へのアプローチを日本的なたたずまいに改善し、日本文化体験へ繋がる魅力あるものとするため、令和3年度、調査・研究と基本設計を進め、令和4年度に日本的な在り様に改めるよう計画した。

2. 実施（開花）

○出来たこと

【日本庭園への誘導者数カウントシステムの導入と運用】

これまで、来館者の日本庭園への正確な入園数が不明であり、アンケートを通して20%と想定していたが、令和3年の誘導者数カウントシステムの導入によって、全来館者の60~70%の来館者が入園していることが把握できるようになった。システムは、15分毎に人数をカウントし時間帯や季節、天候による誘客数の変動も可視化された。クラウド上でPCだけでなく、複数のスマートフォンやタブレット端末で閲覧でき、データもエクセルに同期されてすぐにペーパー化にできる等、利便性も向上した。

△課題 【日本庭園への導線確保による利用者の増加】

日本庭園のカウントシステム導入によって、庭園利用者数に対して園内にある飲食利用者の割合が少ないという課題が見えた。引き続き日本庭園への導線の改善や利用増に向けた調査へと繋がった。

○これから行うこと

【MOA美術館が行う再投資】

令和6年度は、アートガーデン構想として、イギリス人ランドスケープデザイナーのポール・スミザー氏によるナチュラル・ガーデンの整備を進め、その第1期工事が終了した。現在、その第2期整備へと向かっており、今後は、文化観光終了後も自己資金を投入して進める自走事業として継続し、熱海の観光名所の創出に努める。

今後、文化資源と社会のニーズとを結び、美術館としての「点」の活動から地域の活性化を目指した「面」としてインバウンド強化に取り組み、社会貢献のできる美術館を目指し、以下の内容に取り組む。

- ① 共生社会（障害者の雇用）
- ② 地域の活性化（点から面へ）営業
- ③ 伊豆仏像群の観光化
- ④ アートガーデン 熱海観光名所の創出
- ⑤ マンガによる地域の活性化

△課題

日本の観光に資するように、上記5項目をもって、インバウンドを通じた熱海及び伊豆地域の活性化努める。

4. 投資（畑耕し）

お洒落して
きたくなる
アート
リテラシーが
上がる

○出来たこと

茶の庭アプローチ道路の整備を通して、日本庭園への来館者が増加し、完成前との比較で153%来場者が増加した。その結果、各飲食店舗の売り上げ増に貢献し、次なるアートガーデンの整備事業への再投資へと繋がっている。一方、日本庭園での外国人有識者の受入れへと拡がり、光琳屋敷における日本文化体験を行ったところ、「これは日本の文化だ」との評価を受けた。特に伊豆のDMOの紹介による台湾領事の受入れをキッカケとして、伊豆地域観光のキーとなる伊豆急や伊豆箱根等の人材との交流を通して、地域インバウンド事業者のコミュニティが拡大している。

△課題 【文化資源の一体化を進め、点から面へと魅力を発揮する】

館内を見渡す中で、文化資源は点在しているものの、それぞれが一体となって、大きな力を発揮しきれていない。その点を踏まえて、美術館本館、茶の庭、海を見渡せる芝生広場などを有機的に連結させ、「面」的な魅力発信を行なっていく。それによって観光交流客のリピーター率をより高くし、多くの熱海ファンの獲得につなげていく。

3. 成果（収穫）

パネルディスカッション「地域における文化観光の実践の声」

参考資料54

福島県立博物館：隣接し多くの観光客を集める若松城跡との共通チケットを導入し来館者を集めた
若松城跡内での案内サインも改善

▼若松城と福島県立博物館の共通チケット

三施設共通観覧券 けんぱくとお城を観るなら、共通観覧券がお得

県立博物館常設展と鶴ヶ城天守閣および茶室麟閣をお得な割引料金で観覧できる共通観覧券が発売中です。
共通観覧券はそれぞれの施設のチケット販売窓口にて販売しております。
けんぱくとお城、両方をお楽しみの際は、ぜひご利用ください。
なお、共通観覧券で県立博物館の企画展も割引料金でさらに大変お得にご覧いただけます。



▼若松城周遊域内の案内看板の改善



パネルディスカッション「地域における文化観光の実践の声」

参考資料55

福島県立博物館：博物館オリジナルのグッズ開発を行い、地域のものづくり事業者とのつながりを生み出した
会津（若松城下）／奥会津エリアのものづくり文化を感じることができる新商品の販売場所として飲食施設を運営する企業との連携体制を構築

▼雪国ものづくり食堂「つきない」では
「“食”を通して会津のものづくりに触れていただく食堂」がコンセプト



(会津若松観光ナビ)

▼会津ならではのメニューを新規開発し会津の工芸品で味わえる



▼会津塗の行程をディスプレイし、食事を提供する器にも会津塗を使用



▼飲食と関連性の高い工芸品の販売



パネルディスカッション「地域における文化観光の実践の声」

参考資料57

福島県立博物館：若松城下のものづくりの技と美、雪国のものづくりの技と美に出会うマルシェを開催

▼雪国ものづくりマルシェ



パネルディスカッション「地域における文化観光の実践の声」

参考資料58

福島県立博物館：若松城下のものづくりの技と美、雪国のものづくりの技と美に出会うマルシェを開催

▼雪国ものづくりマルシェ（2025年10月11日開催の様子）

・館外の様子



・エントランスホール 会津木綿



パネルディスカッション「地域における文化観光の実践の声」

参考資料59

福島県立博物館：若松城下のものづくりの技と美、雪国のものづくりの技と美に出会うマルシェを開催

▼雪国ものづくりマルシェ（2025年10月11日開催の様子）

・雪国ものづくり広場なんだべや



・エントランスホール 東山芸妓



パネルディスカッション「地域における文化観光の実践の声」

参考資料60

福島県立博物館：若松城下のものづくりの技と美、雪国のものづくりの技と美に出会うマルシェを開催

▼雪国ものづくりマルシェ（2025年10月11日開催の様子）

・音響DJコーナー



・商品開発お披露目



パネルディスカッション「地域における文化観光の実践の声」

参考資料61

福島県立博物館：若松城下のものづくりの技と美、雪国のものづくりの技と美に出会うマルシェを開催

▼雪国ものづくりマルシェ（2025年10月11日開催の様子）

・雪国ものづくりマルシェラジオ



・会津文藝利き酒コーナー



パネルディスカッション「地域における文化観光の実践の声」

参考資料62

福島県立博物館：若松城下のものづくりの技と美、雪国のものづくりの技と美に出会うマルシェを開催

▼雪国ものづくりマルシェ（2025年10月11日開催の様子）



パネルディスカッション「地域における文化観光の実践の声」

参考資料63

福島県立博物館：若松城下のものづくりの技と美、雪国のものづくりの技と美に出会うマルシェを開催

▼雪国ものづくりマルシェ（2025年10月11日開催 クイズラリー）



クイズに答えて会津木綿のオリジナルボタンをつくろう！

① お店をめぐってヒントをGet! お店と関連する展示が福島県立博物館のどのあたりにあるか分かります。
② エントランスホールや展示室をめぐって関連する展示を探し、クイズに答えてみましょう!
③ クイズ全問に答えたら前庭南端の本部へ行ってみましょう。会津木綿の好きな生地でボタンづくり体験ができます! ※材料が無くなり次第終了(16時まで)
※スペシャルクイズには回答しなくてもボタンづくりに参加できます

※画像はイメージです

会津木綿 館内

はらっぱ ヒント
関連する展示
Q.「地織」は何を表現しているでしょうか?
答え

山ねこ ヒント
関連する展示
Q.「かいふし」の芯には何が使われているでしょうか?
答え

会津漆器の未来展 ヒント
関連する展示
Q.「木地師」は、何から漆器を作っていたのでしょうか?
答え

沼沢 工房しんめ ヒント
関連する展示
Q.「塗師」は、漆器の木地に何を塗っているのでしょうか?
答え

うるしーじーず ヒント
関連する展示
Q.会津の職人が得意とした螺鈿(貝を使った装飾)の技法を何というのでしょうか?
答え

紙 館外
出ヶ原和紙 ヒント
関連する展示
Q.和紙を作るのに適した時期はいつでしょうか?
答え

民具 館外
Kikkora ヒント
関連する展示
Q.1月に起き上がりこぼしが売られているのはどのような場でしょうか?
答え

焼物 館内
川合南菜子 ヒント
関連する展示
Q.青の顔料である「呉須」は何かから作られているのでしょうか?
答え

工房 爽 ヒント
関連する展示
Q.会津本郷で作られた陶器と磁器のあいだのやきものを何というのでしょうか?
答え

クイズはここまで!

“スペシャルクイズ” (回答するとげんぱく綿の会津木綿が使えます!)

TESORO. accessory ヒント
関連する展示
Q.縄文時代・弥生時代の焼きものはどのような方法で作られていたのでしょうか?
答え

Q.この土器ができた頃、会津の人々がやり始めたことは何でしょうか?
答え

二つ壺通縁の弥生土壺

ここもチェック! 若松城下図屏風(総合展示室 近世)
幕末の若松城下が描かれています。会津本郷焼誕生のきっかけとなったお城の瓦にご注目!

パネルディスカッション「地域における文化観光の実践の声」

参考資料64

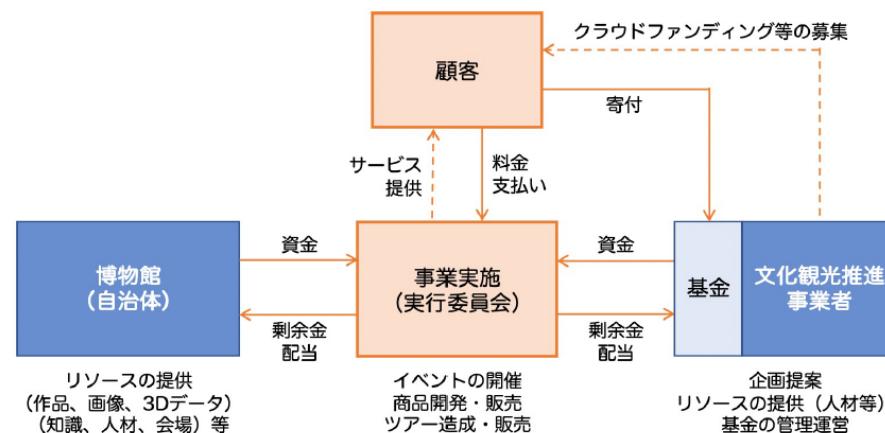
福島県立博物館：新設した団体「一般社団法人 会津地域文化藝術フォーラム」と福島県立博物館との間で連携協定を締結し、事業での利益を地域の連携する団体等に循環する再投資の仕組みの構築！



(一般社団法人 会津地域文化藝術フォーラム)

(実行委員会+文化観光基金方式)

- ・博物館と文化観光推進事業者が実行委員会を組織し、応分の資金を拠出して事業を実施。既にイベント開催等で行われている形式で、年度毎の収支均衡が原則。
- ・実行委員会で経理処理をし、収益（剰余金）をそれぞれに配当。文化観光推進事業者はこれを文化観光基金※にプールして再投資に活用。
※ここで言う「文化観光基金」とは一般社団法人法に定める基金とは異なる。
- ・文化観光推進事業者は、当該事業の実施について寄付を募ることもできる。



パネルディスカッション「地域における文化観光の実践の声」

参考資料65

福島県立博物館：高い知識を有している博物館の学芸員との連携で、旅行ツアーの魅力が大幅に向上



パネルディスカッション「地域における文化観光の実践の声」

参考資料66

サン・ファン館：2024年10月にリニューアル



パネルディスカッション「地域における文化観光の実践の声」

参考資料67

サン・ファン館：ヨット体験



パネルディスカッション「地域における文化観光の実践の声」

参考資料68

サン・ファン館：ロープ体験



パネルディスカッション「地域における文化観光の実践の声」

参考資料69

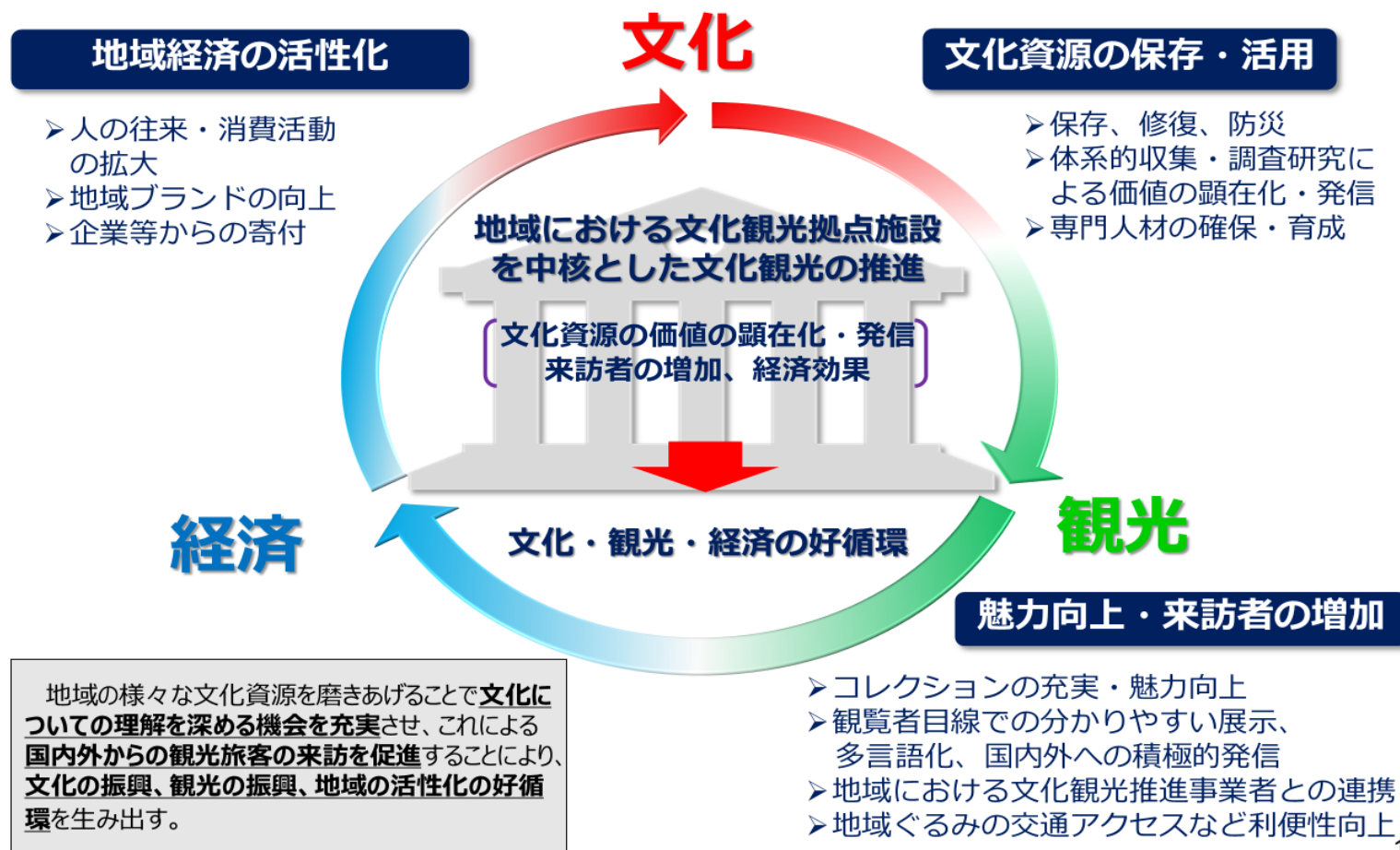
サン・ファン館：カンナがけ



パネルディスカッション「地域における文化観光の実践の声」

参考資料70

文化観光推進法で目指す文化・観光・経済の好循環



文化観光の推進の4つの目標

文化観光の推進に関する基本方針 「文化観光の推進の目標」

1

好循環の創出

文化の振興を起点として、観光の振興、地域の活性化につなげ、その経済効果が文化の振興に再投資される好循環が創出されること

2

連携体制の構築

文化観光拠点施設と文化観光を推進する事業を実施する者（文化観光推進事業者）、地方公共団体との連携体制が構築されること

3

文化理解

文化観光拠点施設等における魅力ある解説・紹介等の取組を通じて、多くの来訪者の文化への理解が深まり、満足度が高まること

4

来訪者の増加

文化観光拠点施設及び地域への国内外からの来訪者が増加すること。特に、国外からの来訪者が今後10年間で現在の2倍程度まで増加すること。